

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	雪印メグミルク株式会社九州支店
所在地	福岡市早良区百道浜 2 - 4 - 2 7 A I ビル 5 階
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	製造業
電話番号	092-688-9720
ホームページ	https://www.meg-snow.com/

Well-being 向上 に向けた取組み	<p>・時短勤務、地域限定勤務制度などがあり、ライフスタイルに合わせた勤務時間、勤務エリアの選択が可能となっている。</p> <p>・直行直帰、在宅勤務制度、フレックスタイム制度を導入し、柔軟な働き方が可能な勤務形態を実践している。</p>		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

事業者名: 雪印メグミルク株式会社九州支店

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																		
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・「人材の多様性の確保と能力を発揮するための環境づくり」に取り組み、女性活躍やシニア社員活用を適切に推進することを目指すている。 ・「出産・育児と仕事」「介護と仕事」の両立を支援するため、規程を整備している他、休務者に対して休職中の職場との連絡体制や復職前面談などの運用を整備している。							○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・在宅勤務制度、フレックスタイム制度を導入し、柔軟な働き方が可能な勤務形態を実践している。 ・時間短縮勤務、地域限定勤務制度など体制を整え、ライフスタイルに合わせた勤務時間、勤務エリアの選択が可能となっている。							○		○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・「サステナビリティ通信」を毎月発行、配信している。人権問題、ハラスメント防止に関する解説やケーススタディを掲載し、従業員の人権尊重に対する意識の啓発につなげている。 ・相談体制として、ホットラインを設置している。 ・福岡市企業同和問題推進協議会への参加。							○		○	○							○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・毎年、従業員のメンタルヘルスチェックを実施している。 ・毎月時間外労働の実績表を作成し是正に取り組んでいる。 ・健康への取組み「健活」やセミナーへの参加を全員対象で実施している。							○	○		○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・「雪印メグミルクバリューの発揮」するために、スキル開発を目指すプログラム提供や自らの仕事を主体的に捉えチャレンジしていく社員の育成を目的としたキャリア開発など、人材育成に取り組んでいる。 ・集合研修(階層別研修、専門研修)、通信教育、外部スクールへの派遣などの教育的支援を実施している。								○	○		○	○							
	環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・ペットボトルの分別回収を徹底している。 ・紙パック回収ボックスを設置し、資源の有効活用をすすめている。							○		○		○	○		○				
【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。			○	○	・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・廊下蛍光灯の間引きや社用車の燃費改善等に取組み、省エネルギー活動に取り組んでいる。									○			○	○						
【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。			○	○	・製品に使用する原材料は、可能な限り、環境に配慮した原材料への切り替えを進めている。 ・環境マネジメントシステムにより、省エネルギー活動に取り組んでいる。									○				○	○	○	○			
【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。			○		・全社環境方針に「水資源の有効活用」を掲げている。 ・従業員へ節水の呼びかけをするなどして、節水に努めている。										○									
製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・当社の品質保証システムを構築し、開発、生産、営業、管理等、全部門で品質管理活動を推進している。 ・全従業員に、毎年、品質保証理解度チェック(テスト)を実施している。							○				○							
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		○	○	○	・酪農乳業という事業を通じて社会課題の解決を図り、健全で豊かな環境を保全し、将来世代にも承継することが出来る持続可能な社会の構築を目指している。 ・フードバンクへの製品提供により、生活困窮者の食を支援する活動に協力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報管理についての規定を整備し、保有する個人情報を定期的に保管している。 ・毎年2回、個人情報の管理状況(内容、保管場所、件数)をチェックしている。																	○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・「企業行動憲章」を策定し、毎月、課単位の「サステナビリティグループ活動」でその浸透に努めている。 ・「行動基準ハンドブック」を携帯し、法令や社会規範に則った対応ができているか確認している。																	○		
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・「健士健民」という存在意義・志のもと、「私たちは社会課題に挑む精神で人と自然が健やかにめぐる食の未来を育んでいく」という考えを共有している。										○	○							○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画を策定しており、事業継続計画は、定期的な訓練と見直しを実施し、継続的改善を行なっている。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。											○	○			○			○	